
中長期財政計画
シミュレーション更新版
(令和6年度～令和15年度)

沖縄県 中城村

令和8年3月策定

目次

第1章	シミュレーション更新内容	1
1.	前回作成時からの変更点	1
2.	収支予測①（対策前）	4
3.	収支予測②（対策後）	5
4.	歳入・歳出・基金・地方債等（収支予測②に基づいた場合）	6
第2章	シミュレーション更新後の考察	13
1.	前回シミュレーションとの比較	13
2.	今後の方針（予算編成の考え方）	14

第1章 シミュレーション更新内容

1. 前回作成時からの変更点

改定の経緯：前回策定時（令和6年3月時点）と比べて、大型事業の状況が大きく変わったことによる再推計

計画期間：令和6年度～令和15年度（前回と同期間）

会計単位：一般会計（前回と同範囲）

なお、本文中の文言について、年度は和暦表記を用いていますが、表やグラフ内ではR6などの略式表記としています。また、金額は特段の表記が無い限り全て千円単位表記としており、四捨五入の影響で合計に齟齬が生じる場合があります。

以下の変更を加えたうえで、予測シミュレーションの更新を行いました。

- ・令和5年度及び令和6年度の各金額（基金残高等含む）を決算額へ更新
- ・令和7年度を直近の補正予算額へ更新
- ・令和8年度を当初予算額へ更新
- ・大型事業収支の見直しに伴う予測額の更新（事業費は以下参照）

大型事業として本計画に見込んでいるものは以下のとおりです。事業費は本計画期間内（令和6年度～令和15年度）に発生する金額の合計を表記しています。（継続事業以外で令和16年度以降も発生する事業（※印）は総事業費ではないことに注意）

担当課	事業名称	事業期間	事業費（千円）	
			前回作成時	今回更新時
総務課	消防負担金 通常分・庁舎分	継続	3,374,557	3,590,161
総務課	防災行政無線機器更新工事	R6～11	-	448,223
企画課	ふるさと納税業務委託料	継続	1,000,000	2,397,753
企画課	護佐丸バス車両購入事業	R8～R9	120,000	120,000
住民生活課	清掃組合負担金 通常分	継続	2,034,144	2,051,685
住民生活課	清掃組合負担金 解体分	R6～R11	175,000	130,000
住民生活課	一般廃棄物処理施設建設基金積立金	R6～R9	437,000	662,660
住民生活課	新クリーンセンター建設事業負担金及び償還費	R7～R30	(※) 1,014,018	(※) 2,697,407
福祉課	社会福祉協議会運営補助金	継続	354,959	406,640
福祉課	障害福祉サービス等給付費	継続	6,110,630	10,162,531

担当課	事業名称	事業期間	事業費（千円）	
			前回作成時	今回更新時
福祉課	障害児入所給付費等	継続	2,029,435	7,414,385
福祉課	自立支援医療費給付費	継続	347,410	550,923
福祉課	重度心身障害者（児）医療費助成費	継続	296,920	368,525
産業振興課	中城地区農道舗装等事業	R6	211,865	192,797
産業振興課	中城城跡共同管理負担金	継続	280,000	282,186
産業振興課	中城観光協会補助金	継続	143,360	120,264
都市建設課	舗装改良事業	R6～R7	459,043	798,756
都市建設課	奥間南上原線改良事業	R6	92,800	80,200
都市建設課	災害防除事業	R6～R7	75,000	43,226
都市建設課	橋梁修繕事業	R6～R9	95,700	129,036
都市建設課	交通安全対策事業	R8～R10	85,000	76,999
上下水道課	下水道事業他会計補助金（料金改定等を考慮）	継続	746,820	731,865
上下水道課	下水道事業他会計負担金（料金改定等を考慮）	継続	161,950	111,555
上下水道課	下水道事業出資金（料金改定等を考慮）	継続	829,220	487,700
健康保険課	国保特会保険基盤安定繰出金（保険税軽減分）	継続	803,000	1,007,269
健康保険課	国保特会保険基盤安定繰出金（保険者支援分）	継続	457,120	480,278
健康保険課	国保特会その他繰出金（保険料改定等を考慮）	継続	1,205,100	114,424
健康保険課	後期高齢者医療費療養費給付費負担金	継続	1,774,369	1,964,099
こども課	児童手当費	継続	4,851,000	7,400,515
こども課	こども医療費助成費	継続	1,132,160	1,456,888
こども課	特別支援保育事業補助金	継続	582,430	674,377
こども課	子ども子育て支援事業補助金	継続	2,135,630	2,279,302
こども課	施設型保育給付費負担金（児童福祉総務費分）	継続	11,179,796	11,980,809
こども課	地域型保育給付費負担金	継続	1,648,160	1,927,709
こども課	施設型保育給付費負担金（幼稚園費分）	継続	1,389,154	1,866,805
こども課	予防接種事業	継続	885,009	997,802

担当課	事業名称	事業期間	事業費（千円）	
			前回作成時	今回更新時
こども課	妊婦支援給付事業	継続	-	342,315
こども課	第三の居場所事業	継続	-	100,800
こども課	妊婦健康診断事業	継続	241,000	318,236
まちづくり 推進課	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	R6～R11	755,000	879,000
教育総務課	中城村立小中学校教育施設整備事業（小学校分）	R6～R35	(※) 6,089,324	(※) 6,550,178
教育総務課	中城村立小中学校教育施設整備事業（中学校分）	R6～R35	(※) 6,387,814	(※) 5,566,797
生涯学習課	中城城跡整備事業	継続	413,800	426,898
生涯学習課	中城ハンタ道整備事業	継続	231,500	263,459
生涯学習課	ごさまる・スポーツ観光交流拠点形成推進事業	R6～R7	442,430	504,022
生涯学習課	吉の浦公園施設機能強化整備事業（推進費分を除く）	R6～R10	512,418	640,679
合計額			63,591,045	81,798,138

2. 収支予測①（対策前）

区分	決算額		補正予算額	当初予算額	推計値							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
歳入	村税	2,774,847	2,794,654	2,849,381	2,859,715	2,770,201	2,795,628	2,807,402	2,833,458	2,846,143	2,872,972	2,886,351
	使用料・手数料	104,133	117,479	124,188	119,420	119,353	119,353	119,353	119,353	119,353	119,353	119,353
	寄付金	329,075	113,533	99,956	125,002	225,001	325,001	325,001	325,001	325,001	325,001	325,001
	繰入金（基金）	166,325	404,194	666,612	581,859	218,566	325,785	10,500	10,500	10,500	10,500	10,500
	繰越金	563,035	391,618	53,170	29,461	5,491	-334,257	-660,789	-1,166,371	-1,633,448	-2,123,008	-2,765,670
	その他収入	416,913	239,285	192,071	213,242	202,820	202,820	202,820	202,820	202,820	202,820	202,820
	自主財源 計 ①	4,354,328	4,060,764	3,985,378	3,928,699	3,541,432	3,434,330	2,804,287	2,324,762	1,870,369	1,407,637	778,355
	繰越金を除いた自主財源 計 ②	3,791,292	3,669,146	3,932,208	3,899,238	3,535,941	3,768,587	3,465,076	3,491,132	3,503,817	3,530,646	3,544,025
	譲与税・交付金	640,379	801,372	758,970	751,404	751,402	751,402	751,402	751,402	751,402	751,402	751,402
	地方交付税	1,772,265	1,882,809	2,089,891	1,928,185	1,928,586	1,929,557	1,932,801	1,937,411	1,948,609	1,977,497	1,977,497
国庫支出金	2,237,191	2,458,854	6,259,449	2,975,741	3,368,155	4,675,603	3,436,352	2,967,384	3,088,658	3,228,115	3,388,855	
県支出金	1,675,331	1,704,555	1,607,241	1,728,354	1,595,486	1,655,130	1,697,085	1,711,684	1,763,057	1,832,810	1,915,353	
地方債	404,017	188,874	2,164,200	570,900	594,000	4,681,980	108,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
依存財源 計 ③	6,729,183	7,036,463	12,879,751	7,954,584	8,237,629	13,693,672	7,925,640	7,417,881	7,601,726	7,839,824	8,083,107	
歳入 計 ①+③=④	11,083,510	11,097,227	16,865,129	11,883,283	11,779,061	17,128,002	10,729,927	9,742,643	9,472,096	9,247,461	8,861,463	
繰越金を除いた歳入 計 ②+③=⑤	10,520,475	10,705,609	16,811,959	11,853,822	11,773,570	17,462,259	11,390,716	10,909,014	11,105,543	11,370,469	11,627,132	
歳出	人件費	1,516,452	1,596,592	1,723,960	1,774,449	1,848,024	1,940,437	1,940,437	1,940,437	1,940,437	1,940,437	1,940,437
	扶助費	1,986,506	2,243,634	2,486,689	2,654,083	2,535,526	2,698,858	2,899,015	3,112,046	3,356,268	3,636,931	3,960,230
	公債費（元利）	482,812	478,150	482,607	461,712	531,134	530,488	685,095	719,432	711,025	837,497	839,192
	義務的経費 計	3,985,770	4,318,376	4,693,256	4,890,244	4,914,684	5,169,783	5,524,547	5,771,915	6,007,730	6,414,865	6,739,859
	普通建設事業費	1,026,249	691,845	5,852,507	1,056,549	899,878	5,459,298	773,870	223,870	223,870	223,870	223,870
	災害復旧費	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	投資的経費 計	1,026,249	691,845	5,852,511	1,056,553	899,882	5,459,302	773,874	223,874	223,874	223,874	223,874
	物件費	1,301,073	1,423,839	1,633,693	1,606,557	1,570,952	1,537,522	1,632,331	1,485,040	1,490,245	1,492,060	1,482,780
	維持補修費	61,585	60,989	49,490	43,686	42,977	42,977	61,565	61,565	61,565	61,565	61,565
	補助金等	2,878,635	3,397,995	3,796,153	3,614,952	3,926,067	4,966,499	3,287,045	3,228,449	3,225,754	3,248,919	3,227,884
積立金	743,362	697,052	352,789	234,474	361,093	232,134	232,494	232,494	232,494	232,494	232,494	
投資及び出資金	73,000	63,000	66,000	70,000	60,900	62,800	61,700	50,000	30,700	16,600	6,000	
繰出金	432,900	347,590	339,811	322,651	306,709	287,708	291,186	291,186	291,186	291,186	291,186	
その他	189,318	43,371	51,965	38,675	30,054	30,066	31,556	31,568	31,556	31,568	31,556	
その他の経費 計	5,679,873	6,033,836	6,289,901	5,930,995	6,298,752	7,159,706	5,597,877	5,380,302	5,363,500	5,374,392	5,333,465	
歳出 計 ⑥	10,691,892	11,044,057	16,835,668	11,877,792	12,113,318	17,788,791	11,896,298	11,376,091	11,595,104	12,013,131	12,297,198	
歳入歳出差引（単年度差額） ⑤-⑥	-171,417	-338,448	-23,709	-23,970	-339,748	-326,532	-505,582	-467,077	-489,561	-642,661	-670,066	
歳入歳出差引（期末資金残高：累計） ④-⑥	391,618	53,170	29,461	5,491	-334,257	-660,789	-1,166,371	-1,633,448	-2,123,008	-2,765,670	-3,435,735	

シミュレーション更新結果を「収支予測①（対策前）」として上記に示します。「歳入歳出差引（期末資金残高：累計）」は翌年度に繰り越す金額を示しており、赤字の場合はそのまま赤字繰越としています。

決算額である令和5年度及び令和6年度の歳入歳出差引（単年度差額）が、いずれも赤字収支となっています。令和7年度及び令和8年度の歳入歳出差引（期末資金残高：累計）は予算額を用いていることから赤字繰越とはなりません、どちらも単年度収支では引き続き赤字となっています。

令和9年度以降の予測では単年度差額の赤字額が大きくなり、期末資金残高でも赤字で繰り越す予測となっています。最終的（令和15年度）な累積赤字額は、前回は約20億円であったのに対し、今回予測では約34億となり赤字額が大きくなっています。

前回作成時と比べると大型事業による支出が増加している点が大きく異なります。特に扶助費の増加額が特徴です。（国・県からの補助金が見込める分も加味していますが、それでも一般財源の負担分が増加しています）

基金は財政調整基金や減債基金、その他の基金が残っており、これら基金を取り崩して赤字解消を試みたパターンを対策後シミュレーションとして試算したのが次の収支予測②です。

3. 収支予測②（対策後）

区分	決算額		補正予算額	当初予算額	推計値							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	
歳入	村税	2,774,847	2,794,654	2,849,381	2,859,715	2,770,201	2,795,628	2,807,402	2,833,458	2,846,143	2,872,972	2,886,351
	使用料・手数料	104,133	117,479	124,188	119,420	119,353	119,353	119,353	119,353	119,353	119,353	119,353
	寄付金	329,075	113,533	99,956	125,002	225,001	325,001	325,001	325,001	325,001	325,001	325,001
	繰入金（基金）	166,325	404,194	666,612	581,859	533,566	640,785	325,500	325,500	325,500	325,500	325,500
	繰越金	563,035	391,618	53,170	29,461	5,491	-19,257	-30,789	-221,371	-373,448	-548,008	-875,670
	その他収入	416,913	239,285	192,071	213,242	202,820	202,820	202,820	202,820	202,820	202,820	202,820
	自主財源 計 ①	4,354,328	4,060,764	3,985,378	3,928,699	3,856,432	4,064,330	3,749,287	3,584,762	3,445,369	3,297,637	2,983,355
	繰越金を除いた自主財源 計 ②	3,791,292	3,669,146	3,932,208	3,899,238	3,850,941	4,083,587	3,780,076	3,806,132	3,818,817	3,845,646	3,859,025
	譲与税・交付金	640,379	801,372	758,970	751,404	751,402	751,402	751,402	751,402	751,402	751,402	751,402
	地方交付税	1,772,265	1,882,809	2,089,891	1,928,185	1,928,586	1,929,557	1,932,801	1,937,411	1,948,609	1,977,497	1,977,497
国庫支出金	2,237,191	2,458,854	6,259,449	2,975,741	3,368,155	4,675,603	3,436,352	2,967,384	3,088,658	3,228,115	3,388,855	
県支出金	1,675,331	1,704,555	1,607,241	1,728,354	1,595,486	1,655,130	1,697,085	1,711,684	1,763,057	1,832,810	1,915,353	
地方債	404,017	188,874	2,164,200	570,900	594,000	4,681,980	108,000	50,000	50,000	50,000	50,000	
依存財源 計 ③	6,729,183	7,036,463	12,879,751	7,954,584	8,237,629	13,693,672	7,925,640	7,417,881	7,601,726	7,839,824	8,083,107	
歳入 計 ①+③=④	11,083,510	11,097,227	16,865,129	11,883,283	12,094,061	17,758,002	11,674,927	11,002,643	11,047,096	11,137,461	11,066,463	
繰越金を除いた歳入 計 ②+③=⑤	10,520,475	10,705,609	16,811,959	11,853,822	12,088,570	17,777,259	11,705,716	11,224,014	11,420,543	11,685,469	11,942,132	
歳出	人件費	1,516,452	1,596,592	1,723,960	1,774,449	1,848,024	1,940,437	1,940,437	1,940,437	1,940,437	1,940,437	1,940,437
	扶助費	1,986,506	2,243,634	2,486,689	2,654,083	2,535,526	2,698,858	2,899,015	3,112,046	3,356,268	3,636,931	3,960,230
	公債費（元利）	482,812	478,150	482,607	461,712	531,134	530,488	685,095	719,432	711,025	837,497	839,192
	義務的経費 計	3,985,770	4,318,376	4,693,256	4,890,244	4,914,684	5,169,783	5,524,547	5,771,915	6,007,730	6,414,865	6,739,859
	普通建設事業費	1,026,249	691,845	5,852,507	1,056,549	899,878	5,459,298	773,870	223,870	223,870	223,870	223,870
	災害復旧費	0	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	投資的経費 計	1,026,249	691,845	5,852,511	1,056,553	899,882	5,459,302	773,874	223,874	223,874	223,874	223,874
	物件費	1,301,073	1,423,839	1,633,693	1,606,557	1,570,952	1,537,522	1,632,331	1,485,040	1,490,245	1,492,060	1,482,780
	維持補修費	61,585	60,989	49,490	43,686	42,977	42,977	61,565	61,565	61,565	61,565	61,565
	補助金等	2,878,635	3,397,995	3,796,153	3,614,952	3,926,067	4,966,499	3,287,045	3,228,449	3,225,754	3,248,919	3,227,884
積立金	743,362	697,052	352,789	234,474	361,093	232,134	232,494	232,494	232,494	232,494	232,494	
投資及び出資金	73,000	63,000	66,000	70,000	60,900	62,800	61,700	50,000	30,700	16,600	6,000	
繰出金	432,900	347,590	339,811	322,651	306,709	287,708	291,186	291,186	291,186	291,186	291,186	
その他	189,318	43,371	51,965	38,675	30,054	30,066	31,556	31,568	31,556	31,568	31,556	
その他の経費 計	5,679,873	6,033,836	6,289,901	5,930,995	6,298,752	7,159,706	5,597,877	5,380,302	5,363,500	5,374,392	5,333,465	
歳出 計 ⑥	10,691,892	11,044,057	16,835,668	11,877,792	12,113,318	17,788,791	11,896,298	11,376,091	11,595,104	12,013,131	12,297,198	
歳入歳出差引（単年度差額） ⑤-⑥	-171,417	-338,448	-23,709	-23,970	-24,748	-11,532	-190,582	-152,077	-174,561	-327,661	-355,066	
歳入歳出差引（期末資金残高：累計） ④-⑥	391,618	53,170	29,461	5,491	-19,257	-30,789	-221,371	-373,448	-548,008	-875,670	-1,230,735	

上表シミュレーションは収支予測①を基に、各種基金を令和9年度以降、以下のとおり取り崩した結果を「収支予測②（対策後）」として示しています。

(1) 公共施設整備基金 150,000 千円/年 (2) チバリヨ-中城ごさまる応援基金 100,000 千円/年 (3) 減債基金 15,000 千円/年 (4) 財政調整基金 50,000 千円/年

基金取り崩しを行った場合は毎年 315,000 千円の歳入増加となりその分赤字を縮小することが可能ですが、令和9年度以降の歳入歳出差引（単年度差額）が 315,000 千円以上のため、完全な解消に至らず赤字繰越の状況は続く見込みです。最終的（令和15年度）には、対策を行った場合でも累積で約 12 億円の赤字となっています。

その時点での基金総額は約 18 億円残っているのでさらに基金を取り崩すことで赤字解消自体は可能です。但し、用途に制限がある公共施設基金・一般廃棄物処理施設建設等基金が約 3 億円あり、それを考慮して約 15 億円の基金総額を取り崩し可能額と考え追加で取り崩すと、令和15年度時点の取り崩し可能な基金総額が約 2 億円まで減少します。その後基金が枯渇する可能性が高くなる点、赤字そのものの解消に至っていないため令和16年度以降も赤字収支が見込まれる点に注意が必要です。

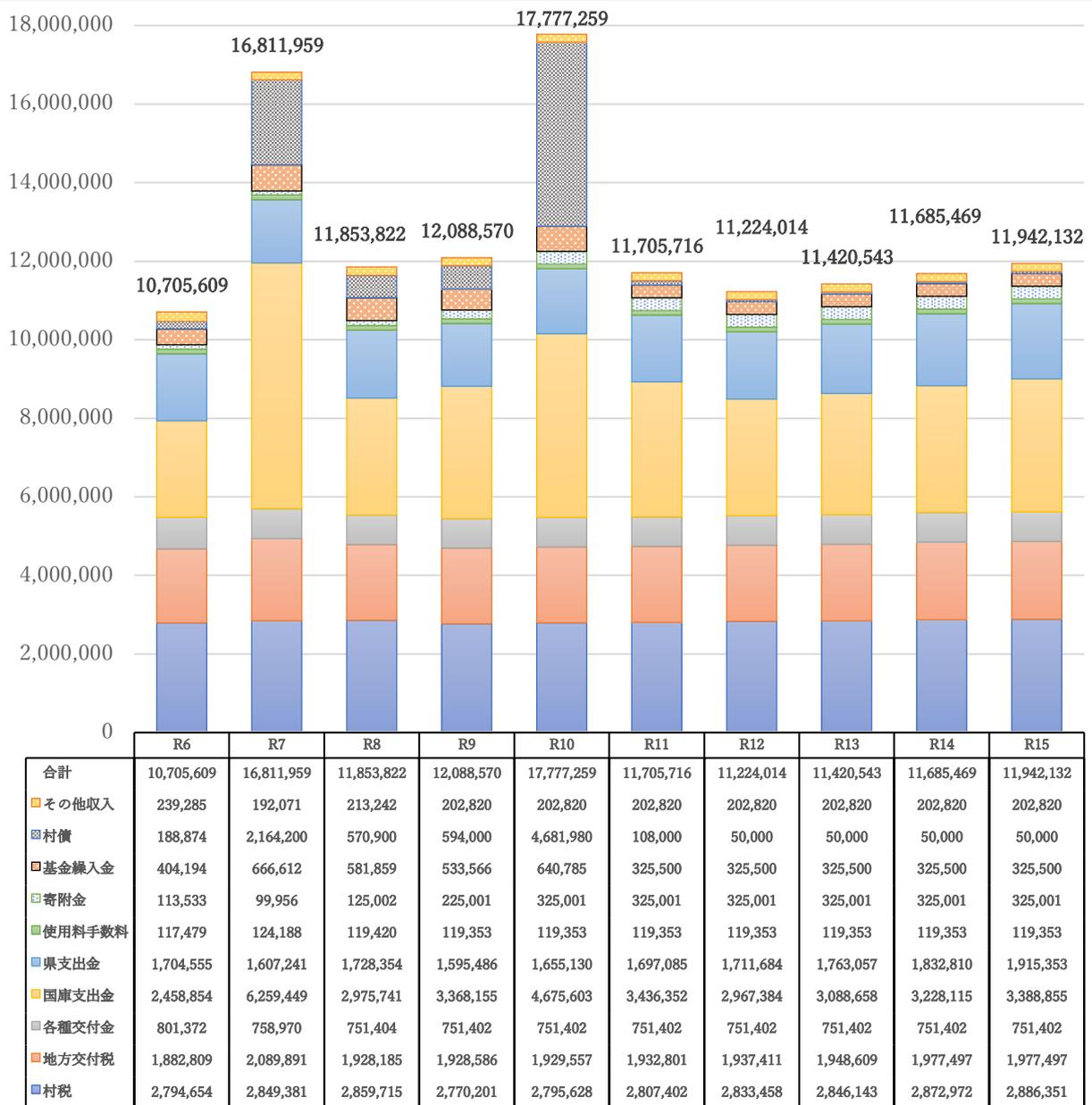
4. 歳入・歳出・基金・地方債等（収支予測②に基づいた場合）

① 歳入の推移（繰越金を除いた額）

村税は前回シミュレーション予測値を踏襲しています。地方交付税は、計画期間内では人口増加が緩やかに続く見込みである点を勘案し、今後も微増傾向が続くこととしています。

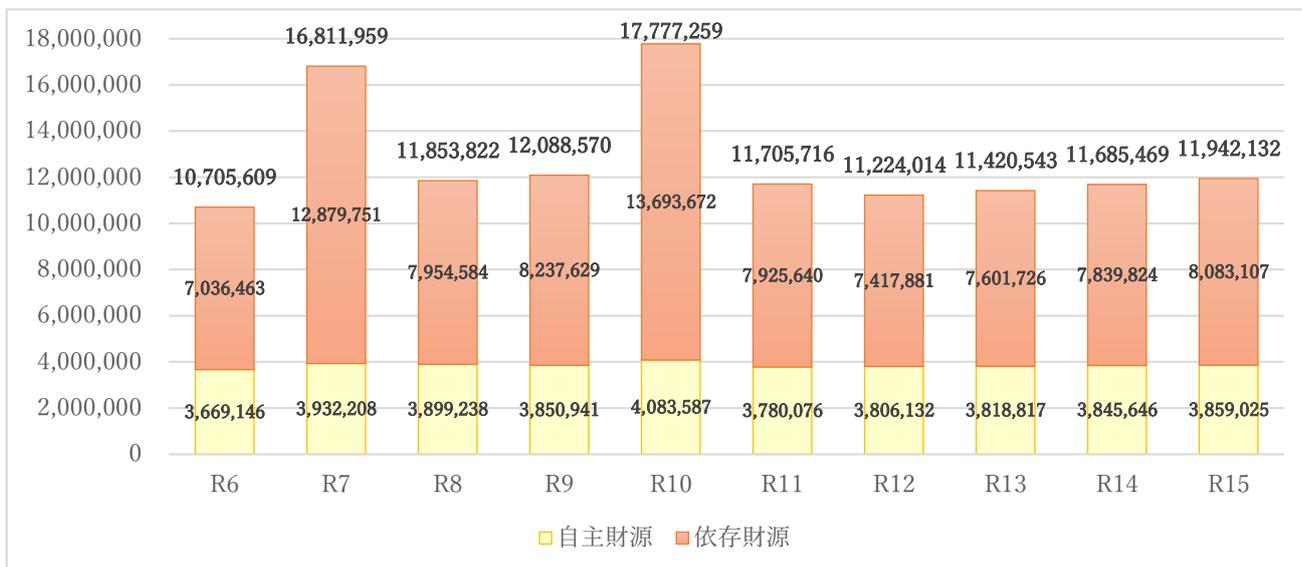
令和7年度に小学校建替、令和10年度に中学校建替の事業が実施予定であり、それに連動して国庫補助金・地方債発行による収入が大きくなる見込みです。（令和7年度は歳入総額約168億円、令和10年度は歳入総額約178億円の規模）

それ以外の年度でも概ね100億円を超える歳入総額見込としています。



<自主財源と依存財源>

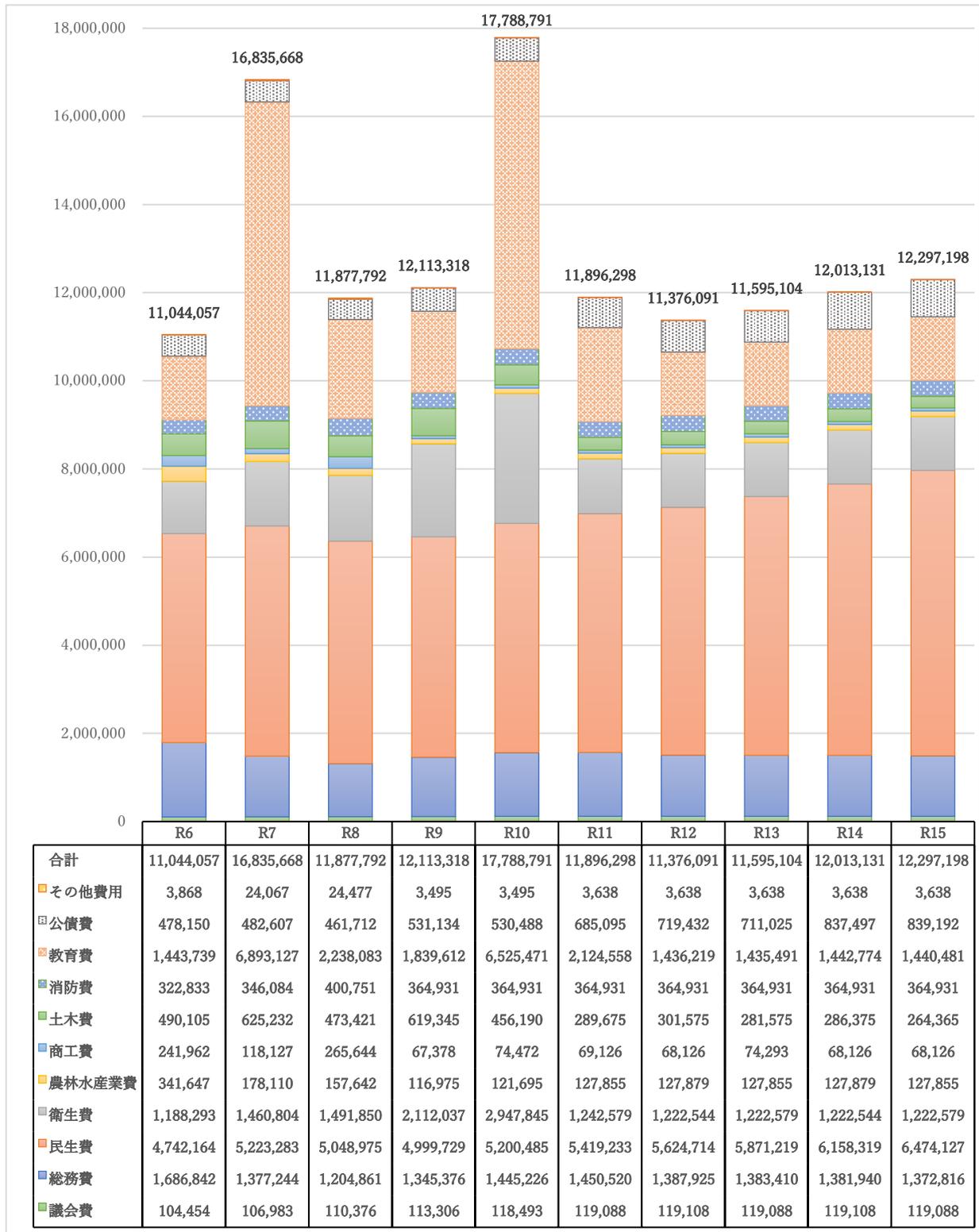
自主財源は、依存財源が突出している令和7年度・令和10年度を除き、令和6年度以降もこれまでと同様の割合で、概ね全体の35%弱の収入を見込んでいます。



② 歳出の推移

<目的別>

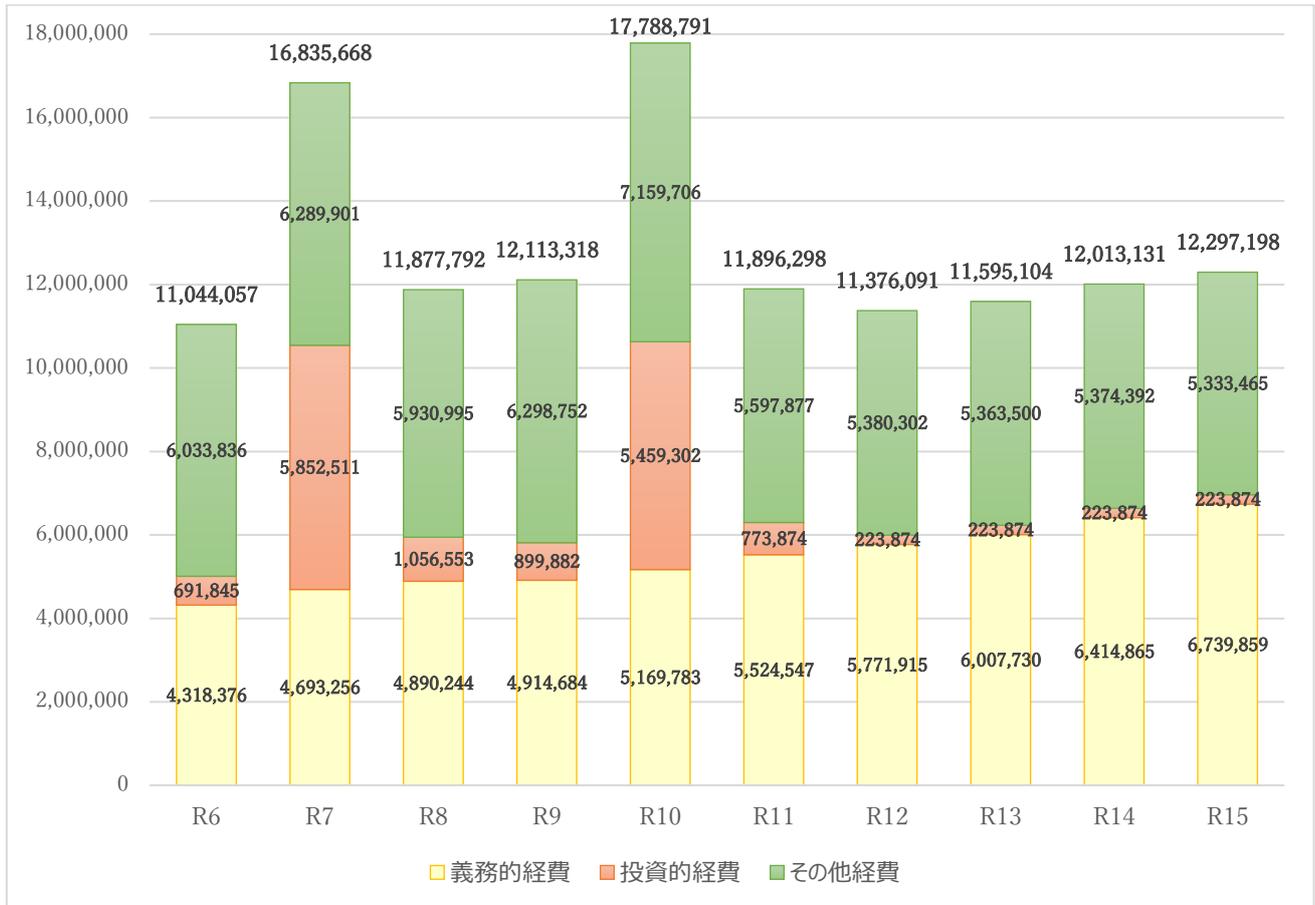
前述した令和7年度・令和10年度の学校建設が教育費に区分されることから、この2年は教育費が他年度と比べて突出しています。



<性質別>

小中学校建設に関連して公債費が増加していくことが予想されるため、義務的経費が増加傾向になる見込みです。公債費（元利）だけではなく、人件費・扶助費も増加傾向にあり注目すべき点です。義務的経費が令和6年度の約43億円から増加し、令和15年度では約67億円に達すると予測しています。

併せて、投資的経費にて小中学校工事による公有財産購入費（PFI事業に伴う支払分）の影響が令和7年度・令和10年度に大きく発生しているほか、同事業関連での地方債以外の支払いが令和25年度まで続く見込みです。

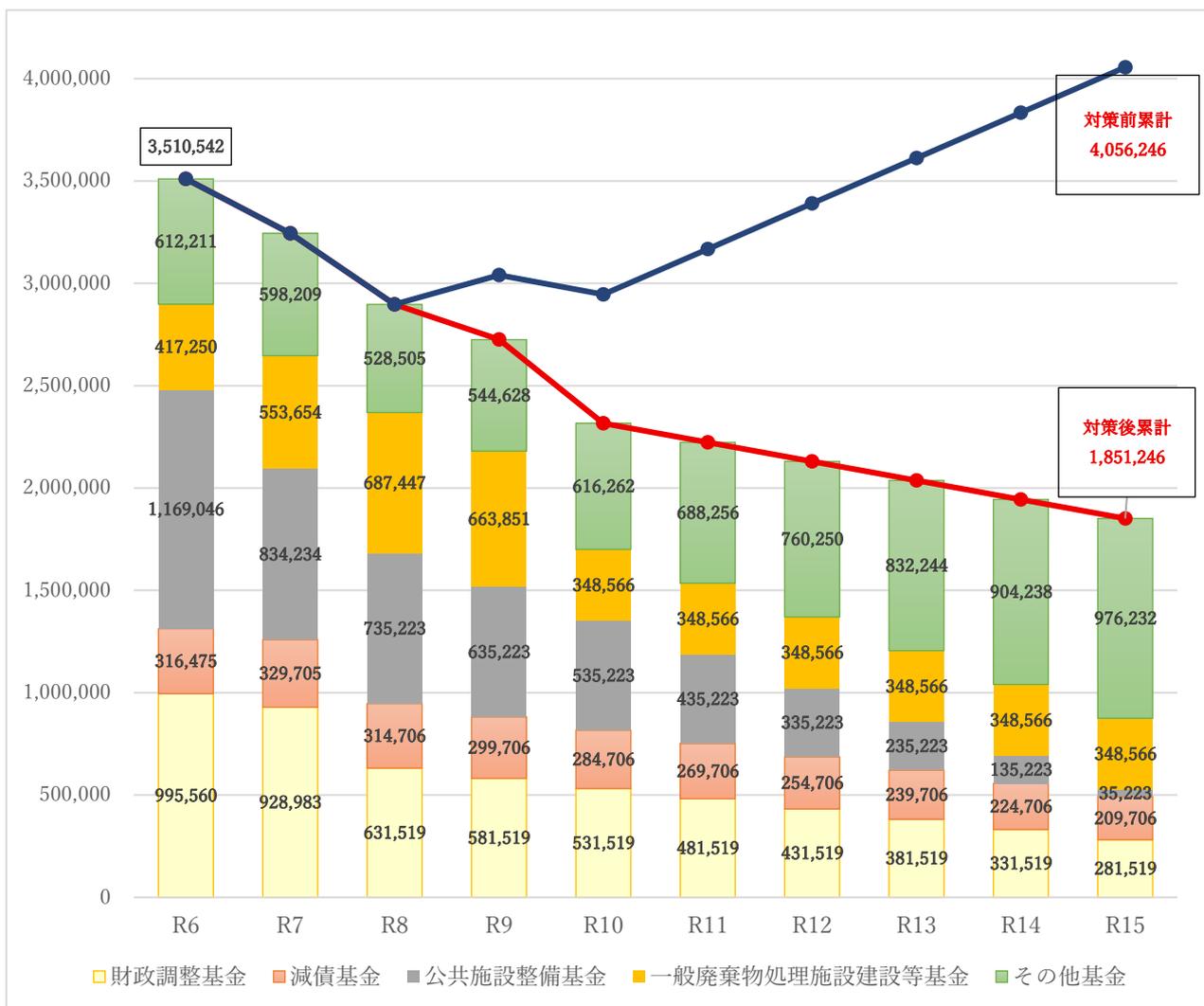


③ 基金残高の推移（対策前後の比較）

折れ線グラフ（青）は収支予測①（対策前）の基金残高を、折れ線グラフ（赤）は収支予測②（対策後）の基金残高を表しています。棒グラフは収支予測②（対策後）での内訳を表しています。

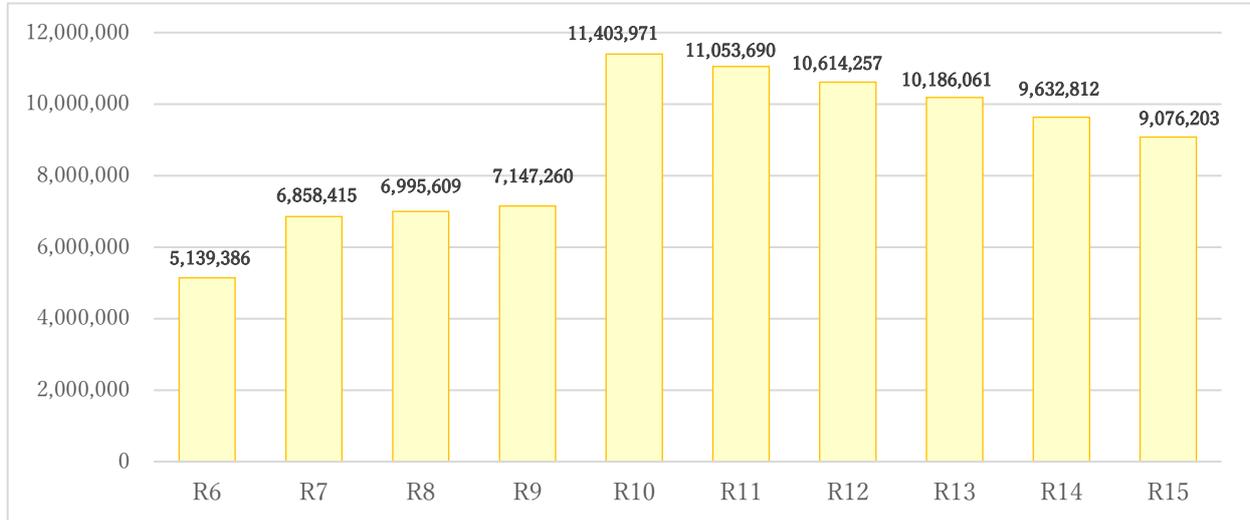
対策として取り崩しを行う財政調整基金・減債基金・公共施設整備基金は年々残高が減少していく予測です。また、一般廃棄物処理施設建設等基金はその目的のため使用していくことからこちらも減少していきます。

その他基金は増加していく試算としているものの、基金総額は令和6年度時点で約35億円ですが令和15年度の収支予測②（対策後）では約19億円となる見込みです。（収支予測①（対策前）の令和15年度総額約41億円と比べて約22億円の差額）



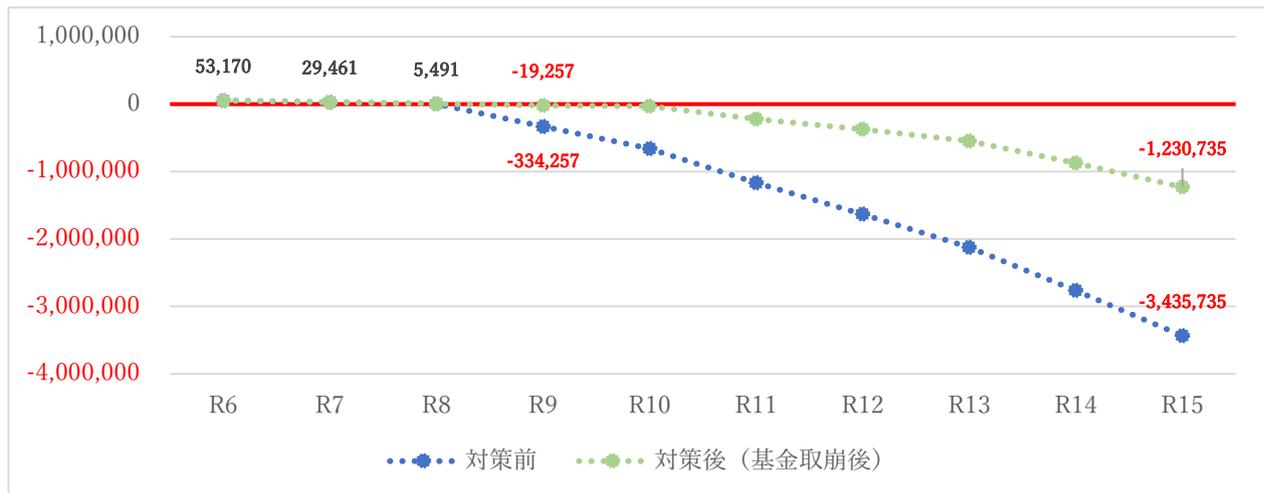
④ 地方債等の推移

令和7年度・令和10年度の学校建設に伴い、地方債残高が令和10年度で約114億円と最大の未償還残高になると予測されます。その後は徐々に減少していく見込みとしているものの、これらの償還が今後の大きな負担となります。



⑤ 歳入歳出差引（期末資金残高）の対策前後比較

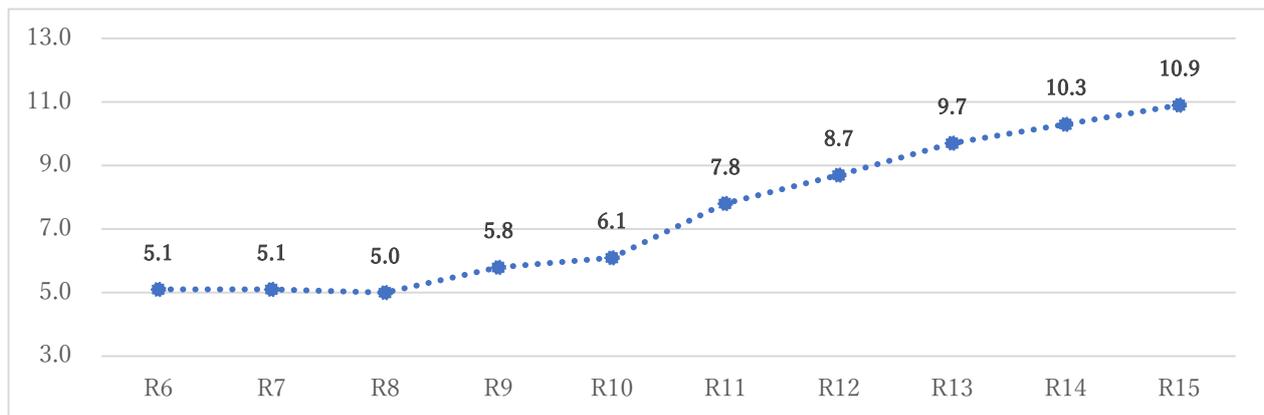
各種基金取り崩しによる対策前後の結果ですが、大きな開きがあります。なお、対策後の資金についてさらに基金取り崩しを行うことにより黒字化することも可能ですが、その分基金残高が減少すること、赤字推移の根本的な解決に繋がらないことは留意する必要があります。



⑥実質公債費比率（単位：％）

地方債の償還額の大きさを財政規模に対する割合で表したものです。（早期健全化基準：25.0％）

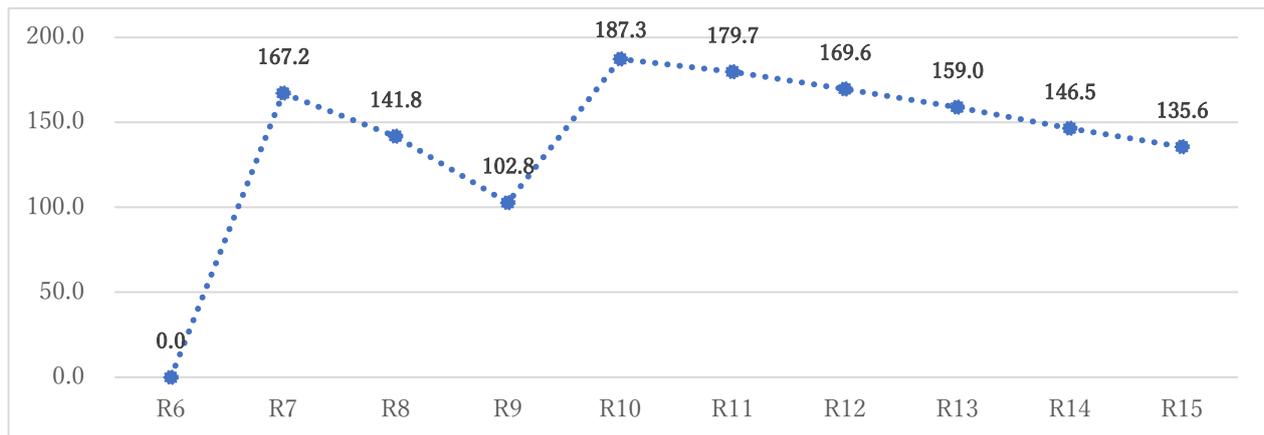
地方債の元利償還額が増加することが大きく影響し、計画期間内での実質公債費比率は増加傾向にあります。令和6年度実績で5.1％でしたが令和9年度以降から増加していき、大型事業関連の地方債償還が本格的になる令和11年度以降は増加速度が上昇します。令和15年度は本計画期間で最大の10.9％まで上昇する見込みです。



⑦将来負担比率（単位：％）

地方債や債務負担行為分など、実質的な負債の大きさを財政規模に対する割合で表したものです。（早期健全化基準：350.0％）

令和6年度実績は0.0％でしたが、小学校事業の債務負担行為分が算定に含まれる令和7年度、及び中学校事業分が含まれる令和10年度に大きく上昇し、令和10年度は最大値である187.3％となります。その後は減少していくものの、当面は高い比率のまま推移していく見込みです。



第2章 シミュレーション更新後の考察

1. 前回シミュレーションとの比較

令和 15 年度時点について、前回と今回の対策前後シミュレーション値を比較しました。

項目比較：収支予測②（対策後）

令和 15 年度末 時点の各金額	前回作成時	今回更新時	差額（今回-前回）
期末資金残高	△263,071 千円	△1,230,735 千円	△967,664 千円
基金残高	3,175,972 千円	1,851,246 千円	△1,324,726 千円
地方債未償還残高	11,845,194 千円	9,076,203 千円	△2,768,991 千円
必要歳出削減額（※）	31,363 千円	164,056 千円	132,693 千円

※必要歳出削減額は、最終的な赤字解消のために、毎年度削減が必要な金額を試算したものです。

前回と比べて大型事業にかかる支出が多く見込まれており、その影響で最終的な期末資金残高の赤字が大きく増加しました。地方債の未償還額は減少しているものの、基金残高が大きく減り、その後の財政状況に大きな不安が残ることとなります。

前回シミュレーションで掲げた課題は以下のとおりでした。

本村の課題

- ・ 大型事業実施による将来の負担増
- ・ 義務的経費の増加による財政の硬直化懸念
- ・ 上記の影響で、他の事業が行えない可能性

今回更新分でも課題自体は同様ですが、大型事業の支出増加により前回よりも村の負担が大きくなっています。前回試算した必要歳出削減額が約 3,000 万円／年に対し、今回試算では約 1 億 6,000 万円／年と大幅に増加しています。これは歳出の抑制だけでは実現が困難であり、収入の確保も同時に検討していくことが必要な状況です。

2. 今後の方針（予算編成の考え方）

これまで述べたとおり、今後は財政的に非常に厳しい状況が続いていくことから、財政部局だけではなく全庁（及び議会や住民）一丸となってこの課題に対応していかなければならない状況です。

財源そのものが限られていることを念頭に置き、今後の予算編成において、単に前年度実績をスライドさせるのではなく、全ての事業の緊急性・効率性を再検証し、優先順位をつけていくことが非常に重要です。その際は過去の実績、国県の予算編成及び社会経済の動向等に加え、交付税措置のある起債活用なども考慮し、単純な負担増にならないように留意する必要があります。

また、一般会計から繰出しを行っている特別会計について、これまで述べた理由により一般会計の財政が非常に厳しくなることが見込まれることから、改めて独立採算の原則に努め、経営健全化に向けた収入の確保や徹底した経費抑制の実施など、十分な経営努力に努めることも肝要です。

予算編成の考え方を列挙すると、以下のとおりです。これらについて十分配慮し、「最小の経費」で「最大の効果」を得られるよう、全庁的な規模で取り組んでいきたいと考えています。

<共通事項>

- ・費用対効果、緊急度を考慮した事業実施の検討、順位付け
- ・沖縄振興特別推進交付金事業の最大限活用
- ・年度途中の補正は制度改正及び災害関係など、緊急に対応せざるを得ないもの以外は行わない
- ・国及び県の動向に十分留意し、経済事情及び過去の実績等を勘案
- ・科目の組替、予算流用が生じることが無いよう留意
- ・新型コロナウイルスを含む感染症等への対応は、国等の動向に留意
- ・行政事務の効率化を図るため、デジタル技術の積極的な活用を行っていく

<歳入>

- ・歳出に比べ見積りが安易になりやすい傾向があるため、過大または過少にならないように留意
- ・国県の予算編成や社会経済の動向を把握
- ・交付税措置のある起債の活用
- ・交付税事業の適正額申請（多額の返還が起らないようにする）
- ・村税収入の適正額確保（滞納処分の徹底強化やコンビニ納付及び口座振替、アプリ決済の推進）
- ・使用料及び手数料の適正額確保（受益者負担の原則、負担の公平性を考慮）
- ・ふるさと納税制度（企業版ふるさと納税含む）の活用
- ・ホームページ、バナー広告や印刷物用への広告媒体の掲載
- ・ネーミングライツ導入等の検討
- ・企業誘致による税収確保

- 未利用土地の活用（売却や賃貸）

<歳出>

- 単純な単年度スライドを行わず、事業効果の検証を実施
- 前例にとらわれず、既存経費の削減、圧縮などスクラップ・アンド・ビルドを徹底する
- 新規の補助金制度を活用する際は、その必要性や効果に加え、後年度の財政負担も考慮する
- 村が補助金等の財政支援を行っている各種団体に対して、村が関与する必要性を十分検証し、事業の整理・縮小、合理化（人件費等）を図る